健康栄養学部カリキュラムマップ（共通教養教育科目）

ディプロマ・ポリシー&学修成果指標 ◎＝学修成果の修得ために特に重要な科目 ○＝学修成果の修得ために重要な科目		1　広範な学問領域における教養を身につけることで、グローバル化する現代社会の諸問題や地域社会の特性を理解することができる。	2　健康の保持増進、傷病の予防・回復のために必要な栄養学的知識と技術、指導方法を修得している。	3　地域を取りまく諸問題の解決に必要な情報を収集・分析・整理して、提案することができる。	4　管理栄養士に必要とされる知識、技能、態度及び考え方の総合的能力を身につけている。	5　栄養や食生活の専門家として、知識や技術を高めるよう生涯にわたって努力することができる。	6　公衆衛生を理解し、保健・医療・福祉・介護システムの中で、栄養・給食関連サービスのマネジメントを行うことができる。	7　健康の保持増進、疾病の一次、二次、三次予防のための栄養教育、食生活指導を行うことができる。
リテラシー科目	英語コミュニケーションIA	◎						
	英語コミュニケーションIB	◎						
	英語コミュニケーションIC	◎						
	英語コミュニケーションID	◎						
	英語コミュニケーションⅡ 基礎プレゼンテーション	◎						
	英語コミュニケーションⅡ 応用プレゼンテーション	◎						
	英語コミュニケーションⅡ 基礎エッセーライティング	◎						
	英語コミュニケーションⅡ 応用エッセーライティング	◎						
	情報処理概論	○		○	○			
	コンピュータリテラシー			○			○	○
	ビジネスリテラシー	○			○			
	日本語表現法	○			○	○		
データサイエンス科目	ITリテラシー	○		○	○			
	データサイエンス入門				○	○	○	
教養基礎科目	科学と人間					○		
	基礎化学		○					
	基礎生物学		○					
	社会調査基礎論	○		○	○			
	日本国憲法	○					○	
	法学	○					○	
	政治学	○						
	経済学	○		○				
	倫理学						○	
	哲学							○
	文学							
	基礎ジェンダー学	○					○	
	心理学						○	○

健康栄養学部カリキュラムマップ（共通教養教育科目）

ディプロマ・ポリシー&学修成果指標 ◎＝学修成果の修得ために特に重要な科目 ○＝学修成果の修得ために重要な科目		1　広範な学問領域における教養を身につけることで、グローバル化する現代社会の諸問題や地域社会の特性を理解することができる。	2　健康の保持増進、傷病の予防・回復のために必要な栄養学的知識と技術、指導方法を修得している。	3　地域を取りまく諸問題の解決に必要な情報を収集・分析・整理して、提案することができる。	4　管理栄養士に必要とされる知識、技能、態度及び考え方の総合的能力を身につけている。	5　栄養や食生活の専門家として、知識や技術を高めるよう生涯にわたって努力することができる。	6　公衆衛生を理解し、保健・医療・福祉・介護システムの中で、栄養・給食関連サービスのマネジメントを行うことができる。	7　健康の保持増進、疾病の一次、二次、三次予防のための栄養教育、食生活指導を行うことができる。
課題別教養科目	生活と社会福祉	○		○	○			
	生活と社会福祉	○					○	
	現代生活論	○					○	
	自然災害と防災の科学	○		○			○	
	平和論	○					○	
	現代人権論	○						
	ジェンダーとキャリア	○						○
	労働と人権							
	地域とグローバリゼーション	○		○				
	家族関係論			○			○	○
	異文化理解海外フィールドワーク	○						
	人権教育論	○						
健康・スポーツ科目	健康スポーツ科学Ⅰ	○					○	
	健康スポーツ科学Ⅱ	○					○	
	対人関係とメンタルヘルス				○			
	健康とヘルスプロモーション		○				○	○
	栄養と健康		○		○			
域学共生科目	地域学概論	○		○				
	土佐の歴史と文化	○						
	土佐の経済とまちづくり	○						
	土佐の自然と暮らし	○		○				
	土佐の食と健康	○						
	専門職連携論			○				○
	チーム形成論			○				○
	地域学実習Ⅰ	○		◎	○			
	地域学実習Ⅱ	○		◎	○			
	域学共生実習	○		◎	○			

健康栄養学部カリキュラムマップ（専門教育科目）

ディプロマ・ポリシー&学修成果指標 ◎＝学修成果の修得ために特に重要な科目 ○＝学修成果の修得ために重要な科目		1　広範な学問領域における教養を身につけることで、グローバル化する現代社会の諸問題や地域社会の特性を理解することができる。	2　健康の保持増進、傷病の予防・回復のために必要な栄養学的知識と技術、指導方法を修得している。	3　地域を取りまく諸問題の解決に必要な情報を収集・分析・整理して、提案することができる。	4　管理栄養士に必要とされる知識、技能、態度及び考え方の総合的能力を身につけている。	5　栄養や食生活の専門家として、知識や技術を高めるよう生涯にわたって努力することができる。	6　公衆衛生を理解し、保健・医療・福祉・介護システムの中で、栄養・給食関連サービスのマネジメントを行うことができる。	7　健康の保持増進、疾病の一次、二次、三次予防のための栄養教育、食生活指導を行うことができる。
基礎科目	健康栄養学基礎	○	○			○		
	健康栄養学応用	○	○			○		
社会・環境と健康	地域健康論	○		○			◎	
	介護論	○			○		○	
	食と介護		○		○		○	
	保健医療福祉論	○		○	○			
	地域医療論					○		
	公衆衛生学		◎				◎	○
	環境衛生学実習						○	
	健康情報論実習					○		
人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	生化学Ⅰ		○					
	生化学Ⅱ		○					
	生化学実験		○					
	人体の構造と機能Ⅰ		◎					
	人体の構造と機能Ⅱ		◎					
	臨床医科学	○	○		○			
	疾病論Ⅰ		○		○		○	
	疾病論Ⅱ		○		○		○	
	運動生理学		○		○			
	生体科学実験・実習		○		○			
食べ物と健康	食品学		◎			◎		○
	食品学実験Ⅰ		◎			◎		○
	食品学実験Ⅱ		◎			◎		○
	食材学		◎			◎		○
	食品の栄養素と機能		◎			◎		○
	食品衛生学		◎			◎		○
	食品衛生学実験		◎			◎		○
	フードシステム学	○		○				

ディプロマ・ポリシー&学修成果指標 ◎＝学修成果の修得ために特に重要な科目 ○＝学修成果の修得ために重要な科目		1　広範な学問領域における教養を身につけることで、グローバル化する現代社会の諸問題や地域社会の特性を理解することができる。	2　健康の保持増進、傷病の予防・回復のために必要な栄養学的知識と技術、指導方法を修得している。	3　地域を取りまく諸問題の解決に必要な情報を収集・分析・整理して、提案することができる。	4　管理栄養士に必要とされる知識、技能、態度及び考え方の総合的能力を身につけている。	5　栄養や食生活の専門家として、知識や技術を高めるよう生涯にわたって努力することができる。	6　公衆衛生を理解し、保健・医療・福祉・介護システムの中で、栄養・給食関連サービスのマネジメントを行うことができる。	7　健康の保持増進、疾病の一次、二次、三次予防のための栄養教育、食生活指導を行うことができる。
	調理学				○		○	○
	調理学実習Ⅰ				○		○	○
	調理学実習Ⅱ				○		○	○
	調理学実習Ⅲ				○		○	○
	調理科学実験				○		○	○
基礎栄養学	基礎栄養学		◎		○			
	基礎栄養学実験		◎		○	○		
応用栄養学	応用栄養学Ⅰ		◎		◎			○
	応用栄養学Ⅱ		◎		◎			○
	応用栄養学実習		◎		◎			○
	ライフステージ栄養学		◎		◎			○
栄養教育論	栄養教育論Ⅰ				○			○
	栄養教育論Ⅱ				○			○
	栄養教育論Ⅲ			○	○			○
	栄養教育論実習Ⅰ				○			○
	栄養教育論実習Ⅱ		◎	○				○
	学校栄養指導論Ⅰ		◎				◎	○
	学校栄養指導論Ⅱ					◎	○	◎
臨床栄養学	臨床栄養学Ⅰ		◎		○			
	臨床栄養学Ⅱ		◎		◎			○
	臨床栄養学Ⅲ		◎		◎			○
	臨床実践栄養学		◎		◎			◎
	臨床栄養学実習Ⅰ		◎		◎			○
	臨床栄養学実習Ⅱ		◎		◎			○

健康栄養学部カリキュラムマップ（専門教育科目）

ディプロマ・ポリシー&学修成果指標 ◎＝学修成果の修得ために特に重要な科目 ○＝学修成果の修得ために重要な科目		1　広範な学問領域における教養を身につけることで、グローバル化する現代社会の諸問題や地域社会の特性を理解することができる。	2　健康の保持増進、傷病の予防・回復のために必要な栄養学的知識と技術、指導方法を修得している。	3　地域を取りまく諸問題の解決に必要な情報を収集・分析・整理して、提案することができる。	4　管理栄養士に必要とされる知識、技能、態度及び考え方の総合的能力を身につけている。	5　栄養や食生活の専門家として、知識や技術を高めるよう生涯にわたって努力することができる。	6　公衆衛生を理解し、保健・医療・福祉・介護システムの中で、栄養・給食関連サービスのマネジメントを行うことができる。	7　健康の保持増進、疾病の一次、二次、三次予防のための栄養教育、食生活指導を行うことができる。
公衆栄養学	公衆栄養学Ⅰ	○		○				
	公衆栄養学Ⅱ	◎		○	◎		○	
	地域公衆栄養学実習	○		◎			◎	
給食経営管理論	給食経営管理論				○	◎	○	
	給食計画論		○				◎	○
	給食経営管理実習Ⅰ				◎	◎	○	
	給食経営管理実習Ⅱ				◎		○	◎
総合演習	管理栄養士総合演習Ⅰ				◎		○	○
	管理栄養士総合演習Ⅱ		○		◎			○
臨地実習	給食経営管理臨地実習		◎		◎	◎		
	臨床栄養学臨地実習Ⅰ		◎		◎		○	
	臨床栄養学臨地実習Ⅱ		◎		◎		○	
	地域公衆栄養学臨地実習	◎			◎	○		
	地域実践栄養学臨地実習	○	◎		◎			
キャリア関連科目	企業実習	○		○				
	健康栄養フィールドワーク	◎		◎		◎		
	HACCP管理論		◎			◎	○	○
課題研究	卒業研究		○		○	◎		